



平成10年12月4日

青森県教育庁文化課

三内丸山遺跡対策室

〒030-8540 青森市新町2丁目3-1  
TEL (0177) 22-1111 (内5251・2)  
FAX (0177) 34-8280

三内丸山遺跡対策室 松原分室

〒030-0813 青森市松原1丁目14-11  
TEL (0177) 74-0455  
FAX (0177) 74-0456

# 三内丸山通信

配石と道路あとと見つかる！  
今年度の発掘調査終了

今年六月一日から十月三十日まで、三地点（第十一次～十三次）の発掘調査を行いました。

第十一次調査は南地区で、昨年に引き続き東側を調査しました。今年新たに見つかった縄文時代の住居跡は、すべて集落が最も栄えた縄文時代中期中頃（約四五〇〇年前）のものでした。集落が南側に広がっていることが確認されました。

また、墓坑が二基検出されたことから、新たな墓域の広がりが予想されます。

第十二次調査の北の谷は、平成六年度に縄文時代前期中頃（約五五〇〇年前）の層まで掘り下げたところで調査を中断していました。今年の調査でも大量の土器が出土しました。四年前に比べ、腐りやすい遺物が残っていないのではとの心配がありました。魚や動



今回見つかった環状の配石

物の骨、ニワトコなどの種子や木片等が良好な状態で出土しています。



竪穴式住居跡

今年度の発掘調査終了

第十三次調査の西地区は、これまでの調査で墓があることが確認されていました。今回、そのすぐ北側を調査した結果、墓坑の周りに円形に巡らした直径5mほどの環状の配石が見つかりました。

また、道路跡が長さ百mほど見つかっています。時代は縄文時代中期中頃（約四五〇〇年前）のものと考えられます。



北の谷のようす

## 体験学習に参加しよう

十月十・十一日に、「動物の利用」として、釣り針をつくって魚釣り実験を行いました。この二日間の体験学習は、縄文時代をよく知ってもらうために、今年



度から始めたもので、八月の「石の利用」に続いて二回目です。

今回は、シカの角で釣り針をつくりました。シカの角は堅く、うまく削ることができず、大変苦労しました。釣りをすると、作った釣り針が大きすぎたためか、なかなか思うように魚がかかってくれません。もう少し工夫をすると、うまく釣れるようになることでしょう。シカの釣り針で魚を釣った縄文人の技術は、あらためてすばらしいものだと思えるものでした。

来る十二月十二日（土）

には、クリの木を使ってスプーン作りを行います。当時の人々は、クリを好んで使い、柱や皿などに利用したようです。非常に堅く、加工が難しいようです。一度ためしてみませんか。午前十時から午後三時までです。

また、二日間連続の体験学習の三回目として、一月九・十日に「植物の利用」を行います。縄文の人たちが身の回りの植物をどのように使っていたのか、解説を聞きながら体験してみませんか。ぜひ、ご参加下さい。



# 世界の中の「ゴジョーモン」

国際狩猟採集民会議

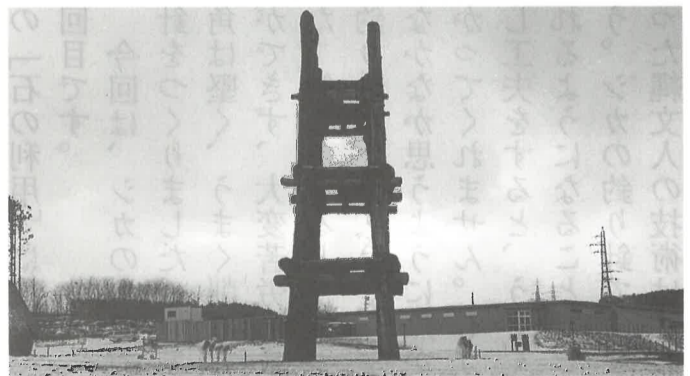
さる十月二日～二五日にかけて、青森公立大学国際交流ハウスと県総合学校教育センターを会場に、「国際狩猟採集民会議青森シンポジウム」が世界七ヶ国から約三十名の研究者が参加して開催され、北太平

洋地域の狩猟採集文化と縄文文化について研究発表が行われました。最終日には同時通訳により、各地域の遺跡の紹介や縄文時代の定住や社会組織について活発な議論がかわされました。



# 今年もライトアップします

今年も、大型掘立柱建物をライトアップします。期間は、十二月十九日から来年の一月四日までです。時間は午後四時三十分から八時までで、期間中は展示室の開館時間も八時まで延長します。



ライトアップを待つ大型掘立柱建物

連載 ⑨

## 『土偶』

三内丸山遺跡からは、これまで千四百点以上の土偶が出土しています。この数は、全国の遺跡の中で、最も多い量です。出土する場所は、盛土（当時の人々が土砂や遺物を集めた「人工の丘」のような場所）からがほとんどです。

縄文時代中期（約五千年前から四千年前）に土偶は急激に増加します。この時代に青森県を中心に作られた土偶は、板のように扁平で、十字型をしています。両足を表現したものは少な



く、立たせることができないものがほとんどです。胸とヘソの部分には丸く粘土が貼られます。この胸の表現から、土偶は女性を表したものと考えられています。女性は出産することができ、新たな生命を産み出すシンボルとされたのではないのでしょうか。土偶はバラバラで出土するものが多く、完全な形のものがないので、そのことにも、何か意味があったのかも知れません。

### 発掘調査委員会

十月二八日に三内丸山遺跡体験学習館で平成十年度の第二回発掘調査委員会を開催しました。今年度の発掘調査の成果について報告があり、その後、調査地点での現地指導が行われました。また、今後の発掘調査計画案と特別研究推進事業について、報告が行われました。

### 情報展

九月から土偶をテーマに情報展を行っています。土偶の意味、出土量の多さ、全体の形や顔立ち、土器に貼り付けられた土偶、なぜ破片で出土するのか、など土偶の謎を一緒に考えてみませんか。

### 三内丸山遺跡の「ごあんない」

- 見学時間 9:00～16:30  
(入場は16:00まで)  
ボランティアガイドの定時説明は11月30日をもって終了しました。
- 休館日 年末年始  
(平成10年12月31日から平成11年1月2日まで)
- 交通手段 市営バス  
青森駅から運転免許センター行き  
三内丸山遺跡前